



お口の体操など実演を交えながら講演いただきました

2/20 埼玉県委託事業 県内消費者団体地区別研修会④

「オーラルフレイルと低栄養」をテーマに開催しました

ふれあいキューブ（春日部）多目的ホールにて、12団体45人（会場16人、オンライン29人）の参加で開催、医療生協さいたまの保健師 檜山陽子さん、歯科衛生士 富岡ひとみさんを講師に、昨年開催した「高齢者と低栄養」の続編として、低栄養とお口の健康についてお話いただきました。

3/18 2025 国際協同組合年関連 賀川豊彦記念松沢資料館を見学しました



展示を説明する
刈谷雅夫雲柱社常務理事

2025国際協同組合年埼玉実行委員会事務局を務める埼玉県農業協同組合中央会と埼玉県生協連役員10人が参加し、公益財団法人賀川事業団雲柱社の刈谷雅夫常務理事から、賀川豊彦に関する講義を受けた後、資料館を見学しました

5/28 会員生協環境活動 情報交換会

ゼロエミッションを実現する会の活動をお聞きし、情報交換しました



4生協6人と県生協連5人で交流しました

ゼロエミッションを実現する会の藤法淑子（ふじのりよしこ）さん、山崎鮎美さんから、会の活動や、埼玉県での取り組みの状況について報告いただき、各生協の環境活動について交流しました。

4/7 埼玉まるごと ヘルスチャレンジ2025 第1回実行委員会

2024年の取り組みを振り返り、
2025年の進め方を話し合いました



健康関連企画などの交流を行いました

今年は取り組み期間を7月～12月として、お子さん含めてより多くの方に参加いただけるよう進めること、実行委員会団体での健康情報の共有をすすめていくことなど、確認しました。

3/18 埼玉消費者被害をなくす会 消費者力アップ学習会Vol.3

今から学ぶシニアのための
イマドキのお金とくらし「金融教育」



講師 中央労働金庫
関口 直樹さん

埼玉会館およびオンラインにて、関口 直樹さん（中央労働金庫さいたま支店）を講師に迎え学習会を開催し、会場23人オンライン35人計58人が参加しました。シニア世代にとって大きなお金が必要となる住宅のメンテナンスや老後資金などの老後生活に必要な費用を考えた時、公的年金だけでは不足する可能性があるため、公的年金に加え、退職金や自助努力の「3階建て」で備えましょうなどと話されました。

SAITAMA
2025 夏号
No.94
(2025年7月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

写真ニュース



埼玉県マスコット
「コバトン」

Top News

6/19

埼玉県生協連第54回通常総会 2025年度事業計画など すべての議案が承認可決されました



開会あいさつ



埼玉県県民生活部消費生活課
築地良和様

埼玉県農業協同組合中央会
西田秀生様

埼玉県地域婦人会連合会
柿沼トミ子様

埼玉会館にて、代議員定数37人中37人（実出席31、書面出席6）、オブザーバー6人が出席し、開催しました。吉川尚彦会長理事のあいさつに続き、ご来賓としてお越しいただいた埼玉県県民生活部消費生活課課長築地良和様、埼玉県農業協同組合中央会常務理事西田秀生様、埼玉県地域婦人会連合会柿沼トミ子様よりごあいさついただきました。次に、吉川尚彦会長理事が第1号議案から第5号議案まで一括提案し、4人の代議員からの発言、議案討議のまとめを経て、採決をおこない、全ての議案が承認されました。閉会后、選任された役員により第1回理事会・監事会が開催され、会長理事に互選された吉川尚彦より、新役員体制が報告されました。

6/17

NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 第22回通常総会および総会記念講演を行いました



採決のようす



池本誠司理事長による
あいさつ

埼玉会館にて、第22回通常総会を開催し、表決権総数116個中98個（実出席28、書面62、委任8）が出席しました。池本誠司理事長によるあいさつ、吉川尚彦専務理事からの議案提案ののち、採決を行い、1議案が承認されました。総会終了後には、「相談員は見た！消費者被害の変遷 ～歴史から学ぶ消費者被害に遭わないポイント～」と題して、消費生活専門相談員の吉松恵子さんに講演いただき、オンラインを含め87人が参加しました。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



写真ニュース
バックナンバーは
こちら

co-op 埼玉県生活協同組合連合会



埼玉県生協連
ホームページは
こちら

生活協同組合コープみらい

「歩行年齢測定会」を開催しています



交流中

測定中

地域の方々を対象にしたフレイル予防・健康づくりの推進を目的に、行政や地域包括支援センターに協力いただきながら、歩行年齢測定会を開催しています。2024年度は7回開催し、のべ252人にご参加いただきました。今年度、初回は5月21日（水）、コープ幸町店にて開催し、33人にご参加いただきました。

測定はコープみらい活動サポーターが行い、測定を待つ間にはブロック委員による脳トレクイズなどで、参加者同士の交流を図りました。

生活協同組合パルシステム埼玉

庄内田植え交流を開催

毎年恒例



初めてのまり作り

5月24日（土）・25日（日）に庄内田植え交流を山形県鶴岡市で行いました。毎年、産直産地である庄内産直ネットワーク（JA庄内たがわ・庄内協同ファーム）と産地交流を行っており、今回は14組32人の組合員が参加しました。1日目は、お米の学習会を行った後に生産者と組合員がグループに分かれ、生産者の家族も参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、田植えを行いました。2日目は庄内地方の歴史を学ぶことを目的に観光施設などをめぐり、御殿まり作りを体験しました。

生活クラブ生活協同組合

羽生の田んぼで「無農薬の米作り(彩のきずな)」体験



苗をもらって5本ずつくらいに分けて植えました

田植えのあとを見るとみんながやったことが形になっていて充実感があつた

今年は組合員と18歳以下の家族を対象に「はにゅう田んぼ部員」を募集し、38人が集まりました。5月の田植えから6月の草取り&生き物探し、9月の稲刈り、11月の収穫祭までの作業に関わりながら米作りを学びます。田植えには雨の中、スポット参加も含め親子76人が参加し、「田植えの大変さを通してご飯が食べられることの有り難さがわかった」などの感想がありました。田んぼ部員は、苗の生育を見守り、育て、秋の収穫で分け合います。

医療生協さいたま生活協同組合

7月スタート！大人も子どもも 埼玉まるごとヘルスチャレンジ2025

コース

楽

たのしむ

心が楽しいことをしよう



「好きな本を読む」

コース

休

やすむ

脳と体を休ませよう



「ヨガでリラックス」

医療生協さいたまは「地域まるごと健康づくり」で地域全体の健康づくりに取り組んでいます。今年も他の協同組合とともにとりくむヘルスチャレンジが始まりました。6つの中から好きなコースを選び、チャレンジ内容を決めたらスタートです。もうすぐ夏休みの子どもたちにもおすすめ。友達や家族を誘ってみんなで楽しくチャレンジ！

くわしくは
こちらから



埼玉県勤労者生活協同組合

東日本大震災復興支援「ひまわりプロジェクト」に取り組んでいます



東日本大震災からの復興支援として、2011年よりNPOと連携し、「ひまわりプロジェクト」に継続して取り組んでいます。被災地から送られたひまわりの種を地域で栽培し、収穫した種を再び現地に届けるこの活動は、震災の記憶と被災地とのつながりを次世代に伝える循環型の支援です。震災の記憶が薄れつつある今だからこそ、ひまわりを通じて「忘れない」「支え合う」思いを広げていくことが大切だと考えています。

さいたま住宅生活協同組合

協力業者会による社会貢献活動



壁の塗装

トイレの補修

さいたま住宅生協の「協力業者会」が、専門性を活かした社会貢献活動を行っています。昨年度末には2カ所の障がい者共同作業所から依頼があり、小規模修繕をボランティアで行いました。壁の汚れや傷の塗装やトイレの補修など、利用者からは「きれいになった」「使いやすくなった」、また「介助する職員の身体的負担も減少した」と喜びの声が寄せられ、参加した業者にとってもやりがいのある仕事となりました。

こくみん共済 coop 〈全労済〉

「埼玉労済創立60周年記念 地区共済会イベント」開催

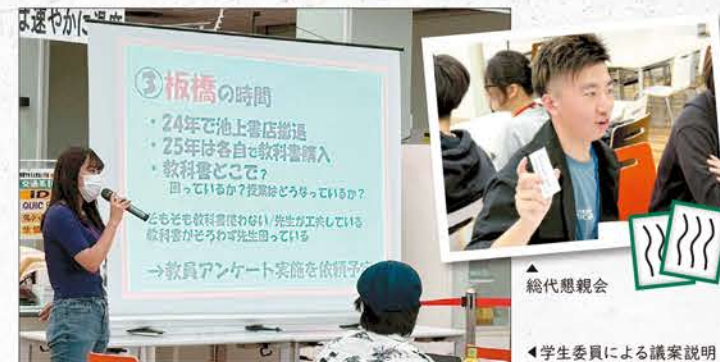


新聞会長（東埼玉地区共済会）による主催者代表あいさつ

4月6日（日）、大宮ソニックシティ（さいたま市）にて、「埼玉労済創立60周年記念 地区共済会イベント」を開催しました。当日は劇団ポプラによる「ミュージカル オズの魔法使い」を上演し、組合員とご家族323人が来場され、楽しいひと時をお過ごしいただきました。60周年の節目を迎え、みなさまのご支援に心から感謝いたします。これからも組合員のみなさまのため、安心社会の実現に向け、各種取り組みを進めてまいります。

大東文化学園生活協同組合

総代1人ひとりが「自分ごと」として考える総代会



総代懇親会

学生委員による講義説明

5月26日（月）、第38回通常総代会を総代87名（実出席32名）の出席で開催しました。大東は、①「学び分野」ではiPadでのデジタルノートテイクを推奨しています。②「食分野」では、授業がある平日毎日650円で食べられる「ミール定期券」を開始し、喜ばれています。一方、コロナ以降生協加入率が50%を下回る状況が続いており、9月より食堂の2重価格を決定しました。総代会に先立ち行われた懇親会では「共済かるた」を使って、楽しく共済について学ぶことができました。大東では年間4回の総代ミーティングを行っており、今後も総代とともに、生協を使いやすいお店に改善していきます。